



国立熊本高専の学生らの指導で、基盤のはんだ付けに挑戦する子どもたち＝合志市

合志市・高専熊本

親子で楽しく 「科学ショー」

合志市の国立熊本高専熊本キャンパスで20日、「わくわく実験講座」が開かれた。幼児から高校生、保護者ら約1100人がLEDの電光掲示板作りや実験ショーを楽しんだ。

はんだ付け挑戦 空気砲発射!!

地域の子どもたちに科学への関心を持ってもらうおとと毎年開く恒例イベント。昨年は熊本地震で中止しており、2年ぶり。教室や体育館に25の実験・工作コーナーを設け、同校の学生たちが講師役



悪者と戦い、客席に向かって空気砲を発射する科学戦隊「タイケンジャー」

を務めた。電光掲示板作りでは、学生らがLEDの特徴や掲示板に文字が流れる仕組みなどを説明。参加者は基盤に部品をはんだ付けする作業に挑戦。電池で動く手のひらサイズの電光掲示板を組み立てた。

科学戦隊「タイケンジャー」のショーでは、ヒーローにふんじた学生たちがステージから空気砲を発射し、観客を喜ばせた。IH調理器を改造した器具で、綿あめを作るコーナーも行列ができた。

両親と参加した益城町の広安小3年江崎優羽さんは「溶けた樹脂が出てくるペンで、立体的な花を作った。教えてもらって面白かった。部屋に飾りたい」と話した。

(宮崎あずさ)